瀬田の丘

創刊 1973 年
編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1

今日のみことば
主の変容の祝日　A 年（2023 年 8 月 6 日）

瀬田教会主任司祭　小西広志神父

第一朗読：ダニエルの預言　7 章 9-10、13-14 節
第二朗読：使徒ペトロの手紙　1 章 16-19 節
福音朗読：マタイによる福音　17 章 1-9 節

主の栄光

今日の朗読箇所を読むために、三つのテーマから味わってみましょう。

一つ目のテーマは「主の栄光」です。福音朗読には「顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった」とあります。「白さ」、「輝き」などは神さまの栄光を表す表現です。また、イエスさまは「高い山に登られた」訳ですから、山は神さまと人間とが出会う場所の象徴でした。ですから、イエスさまは山の上で弟子たちと群衆にお説教なさいました（山上の説教）。さらに「光り輝く雲が彼らを覆った」とあります。雲は神さまがここにおられる（臨在）のしるしです。そして、「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに聞け」という声が雲の中から聞こえてきます。

「栄光」とは「それそのものの存在の重さ」という意味だそうです。つまり、「主の栄光」とは、主である神さまがそこにおられる状態を指します。光輝く、真っ白なイエスさまのお姿は、神さまの栄光を表しているのです。

二つ目のテーマは「イエスとは誰か」です。「これはわたしの愛する子」と神さまが雲の中から語りかけるのですから、イエスさまは神さまから愛された子です。しかも「心に適う者」ですので、父である神さまと子であるイエスさまとのこころはピッタリと一致しています。「適う」とは一致しているという意味でとらえたらよいでしょう。ある聖書はここを「わたしの喜び」と訳しています。ピッタリと一致しているから、御父にとって子であるイエスさまは喜びそのものなのです。そして、

「これに聞け」とありますから、わたしたちはイエスさまの言葉に耳を傾けていかなければならないでしょう。こうして、イエスさまと天の御父との関わり合いにわたしたちも入れられていくのです。

三つ目のテーマは「未来の姿」です。ご変容を通じて、イエスさまはご自分が復活なさった後どうなるかを前もってお弟子さんたちに教えてくれたのです。と同時に、その姿は終わりの日の私たちの姿でもあります。みじめな人生を生きているわたしたちですが、洗礼によって神さまの子どもにさせていただいて、将来は栄光の姿へと変えられていくのだと思います。

「神の栄光とは、すなわち人間である」と言ったのは 2 世紀の教父、聖エイレナイオス（イレネオ）だったと記憶しています。「栄光」と聞くと壮麗なものを思いがちですが、実は神さまは人間を通じて、ご自分のすばらしさを表されるのです。イエスさまは「神の栄光」を自ら表すためにこの世に来られました。「神の栄光」を人々に感じてほしくて、病気の人を癒やし、貧しい人に手を差し伸べました。こうして、イエスさまのおかげで、みじめで罪深い人間が、神さまのすばらしさに加えていただき、それを分けていただいて生きられるようになったのです。

いえ、イエスさまの十字架のお姿そのものが「神の栄光」とそれに組み入れられる（与る）「人間の栄光」を表すのです。他人にはみじめな姿かもしれませんが、十字架は神さまと人間の「それそのものの存在の重さ」を表しているのです。

お知らせ

8 月 15 日　聖母被昇天のお祝い日は 2 回ミサがあります。

午前 6 時より（朝の祈りに引き続きミサ）
午前 10 時半より

天にあげられたマリアさまを通じて、
わたしたちの未来の姿、栄光の姿を祈り求めていきましょう。